

例 言

1. 本書には大同元年七月二十六日我國最初の發行にかゝる所謂第一版切手より、康徳九年九月十五日發行の建國十周年慶祝切手に至るまでの滿洲國郵便切手全部を網羅し、普通切手、滿華通郵切手、暫作切手、航空切手、年賀切手及紀念切手の種類別とし、且つ其の發行年月順に掲載し、説明は日滿兩文を以てせり。

2. 切手の刷色には多少の濃淡及變化あり、且つ之を正確に記載することは困難なるを以て、本書に於ては主として、切手發行に關する部令又は佈告に記載せられたる刷色に依ることとせり。

3. 本書に挿入の切手寫眞は何れも實物の約 1.2 倍に擴大せるものなり。

4. 印面寸法に就ては、例へば $18\frac{1}{2} \times 22\frac{1}{2}$ 耗、とあるは横 $18\frac{1}{2}$ 耗、縦 $22\frac{1}{2}$ 耗なることを意味す。

5. 目打は世界共通の慣例に従ひ、長さ 20 耗中にある穿孔の數を以て表はす。目打には單式と複式とあり、例へば目打 $12\frac{1}{2}$ とあるは單式目打にして、切手の縦横とも目打數 $12\frac{1}{2}$ なることを意味し、又目打 $13 \times 13\frac{1}{2}$ とあるは複式目打にして、13は横の目打數、 $13\frac{1}{2}$ は縦の目打數を表はす。

6. シートの構成に就ては、例へば 10×7 の七十面版とあるは横10枚、縦7枚の切手よりなるシートを意味す。

7. 各切手に就ての記載事項は次の如く配列せり。

(切手番號) (圖案符號) (料額面) (刷色)(同滿譯) (未使用時價) (使用濟時價)

8. 近時滿洲國切手の市價には變動常ならざるものあり、其の適切なる評價は難事とする處なるも、本書所載の切手時價は、本書發行當時に於ける新京、奉天、哈爾濱、其他滿洲各地の市價を蒐集、綜合して之を基礎とし、日本内地及上海等に於ける市價を參考として決定せるものにして、評價は滿洲國國幣を以てせり。

9. 評價に當り未使用切手は當局より發賣せられたるまゝの完全なるものを標準とし、使用濟切手は破損、變色なく又消印も普通なるものを標準とせり。

10. 本書の編輯に際し種々の關係資料を提供せられたる郵政總局郵政處企劃科弘報股に深甚なる感謝の意を表す。

又本書編輯に當り參考としたる主なる書籍及雜誌を掲げ原著者各位に謝意を表す。

政府公報

北海蒐樂會編 滿洲國郵便切手官製葉書型錄(昭和十三年)

和田一郎、大橋勝郎共編 滿洲帝國郵便切手總鑑(昭和十五年)

赤木英道著 The Postage Stamps of Manchoukuo (1941)

徐壽伯編 滿郵彙編並に滿郵貼票冊(康德八年)

A. Schumann, Manchoukuo Specialized Catalogue (1942)

孫正平著 滿洲集郵圖譜並に滿洲郵票目錄(康德九年)

切手文化(切手趣味)、郵便切手、其他の雜誌

11. 本書の編輯は主として織田三郎氏、滿譯は寧述薪氏擔當せられたり。又表紙題字は白銘璋氏の揮毫に係るものとす。尙ほ山下武夫氏、袁維邦氏、徐長生氏、其他滿洲郵票會員各位の御助言に負ふ處多く、厚く謝意を表す。

12. 本書の記載事項は簡明を旨としたため、多少不備の點あるやも知れず、又調査尙ほ不充分にして意に滿たざる點もあり、或は誤脱無きを保し難し、大方諸賢の御教示を待つて更に完全に近づかんとす。

例 言

1. 本書係由大同元年七月二十六日我國最初發行之所謂第一版郵票起、至康德九年九月十五日發行之慶祝建國十週年郵票止、網羅滿洲國郵票之全部、按其種類區分爲普通郵票、滿華通郵々票、暫作郵票、航空郵票、賀年郵票及紀念郵票、並依其發行年月順次編纂、說明用日滿兩文。

2. 郵票之色彩、多少有濃淡及變化者、但因此類之記載困難、故本書祇依照郵票關係之部令及佈告上所記載之色彩註明。

3. 本書所挿入之郵票照片、皆照實物擴大約1.2倍。

4. 關於圖案面積、例如 $18\frac{1}{2} \times 22\frac{1}{2}$ 耗、即橫長爲 $18\frac{1}{2}$ 耗、縱長爲 $22\frac{1}{2}$ 耗之量。

5. 齒孔依世界共通之慣例、於20耗之長短中計算其穿孔之數、齒孔有單式及複式、例如齒孔 $12\frac{1}{2}$ 者爲單式齒孔、即郵票之縱橫齒孔數均爲 $12\frac{1}{2}$ 之意。再如 $13 \times 13\frac{1}{2}$ 者爲複式齒孔、即13爲橫齒孔數、 $13\frac{1}{2}$ 爲縱齒孔數。

6. 全張枚數之構成、例如 10×7 之七十枚版、即橫爲10枚、縱爲7枚之郵票所構成之全張之意。

7. 關於各郵票之記載事項、如次配列

(郵票號數) (圖案符號) (票面額) (色彩) (新票時價) (舊票時價)

8. 再關於近來滿洲國郵票之市價、變動無常、決定其適切之評價十分困難、但本書所載之時價、係蒐集綜合於本書發行當時之新京、奉天、哈爾濱、其他滿洲各地之市價爲基礎。同時並參考日本內地及上海等處之市價而決定者、評價之貨幣爲滿洲國國幣。

9. 評價之郵票、新郵票係以當局所發行之完全品爲標準、舊郵票係以未破壞、未變色並消印普通者爲標準。

10. 當本書編纂之際、郵政總局郵政處企劃科弘報股供與種々之關係資料、於此深表謝意。本書編纂所參攷之主要書籍及雜誌今掲載如下、同時並向原著各位深表謝意。

政府公報

北海寬樂會編 滿洲國郵便切手官製葉書型錄(昭和十三年)

和田一郎、大橋勝郎共編 滿洲帝國郵便切手總鑑(昭和十五年)

赤木英道著 The Postage Stamps of Manchoukuo (1941)

徐壽伯編 滿郵彙編及滿郵貼票冊(康德八年)

A.Schumann, Manchoukuo Specialized Catalogue (1942)

孫正平著 滿洲集郵圖譜及滿洲郵票目錄(康德九年)

切手文化(切手趣味)、郵便切手、及其他等雜誌

11. 本書之編輯係織田三郎氏擔當、滿文煩草述新氏譯成。表紙之題字係白銘璋氏之揮毫。並得山下武夫氏、袁維邦氏、徐長生氏、以及其他滿洲郵票會員各位之指教處亦甚多、實爲感謝。

12. 本書之記載事項、以簡明爲主、故或有不完整之處、並調查亦不充分、其中當有不滿意之點、或難免不無誤漏之處、尙希諸位指教以期其完整。

年 表

滿洲帝國		日本帝國		中華民國	西 曆
大同	元年	昭和	七年	民國二十一年	1932
〃	二年	〃	八年	〃 二十二年	1933
〃	三年	〃	九年	〃 二十三年	1934
康德	元年	〃	九年	〃 二十三年	1934
〃	二年	〃	十年	〃 二十四年	1935
〃	三年	〃	十一年	〃 二十五年	1936
〃	四年	〃	十二年	〃 二十六年	1937
〃	五年	〃	十三年	〃 二十七年	1938
〃	六年	〃	十四年	〃 二十八年	1939
〃	七年	〃	十五年	〃 二十九年	1940
〃	八年	〃	十六年	〃 三十 年	1941
〃	九年	〃	十七年	〃 三十一年	1942

目 次

一 普通切手（普通郵票）	1
（一） 普通第一版	1
（二） 普通第二版	4
（三） 普通第三版	5
（四） 普通第四版第一次	8
（五） 普通第四版第二次	10
二 滿華通郵切手（滿華通郵郵票）	11
（一） 通郵第一次	11
（二） 通郵第二次	12
（三） 通郵第三次	12
（四） 通郵第四次	13
三 暫作切手（暫作郵票）	15
（一） 暫作第一次	15
（二） 暫作第二次	16
（三） 暫作第三次	16
（四） 暫作第四次	17
四 航空切手（航空郵票）	19
（一） 航空第一次	19
（二） 航空第二次	20
五 年賀切手（賀年郵票）	21
六 紀念切手（紀念郵票）	22
（一） 建國一年紀念	22
（二） 登極紀念	23
（三） 皇帝陛下訪日紀念（第一次）	24
（四） 滿日郵便條約締結紀念	25
（五） 建國五周年紀念	26
（六） 國都建設紀念	27
（七） 治外法權撤廢紀念	28
（八） 滿洲國赤十字社創立紀念	30
（九） 鐵道壹萬軒突破紀念	31

(十)	皇帝陛下訪日紀念(第二次).....	32
(十一)	臨時國勢調查紀念.....	33
(十二)	慶祝日本紀元二千六百年.....	34
(十三)	國兵法實施紀念.....	36
(十四)	紀念新嘉坡復歸我東亞.....	37
(十五)	建國十周年紀念.....	37
(十六)	慶祝建國十周年.....	39

一 普通切手（普通郵票）

（一）第一版——大同元年七月二十六日發行

大同元年七月二十六日郵政接收と同時に、中華郵政時代の郵便切手を廢し、新郵便切手十八種を發行す。大同元年七月九日交通部令第三號を以て公布。印刷様式はオフセット、用紙は白色無地紙にて透し無し、印面寸法 $18\frac{1}{2} \times 22\frac{1}{2}$ 耗、目打 $13 \times 13\frac{1}{2}$ 、シートの構成は 10×10 の百面版、印刷所は日本の内閣印刷局、最初に調製せるものはシート下部耳紙中央に「大日本帝國政府内閣印刷局製造」の銘版あり、後に調製せるもの——半分より壹角參分迄及壹角六分——には銘版なし。

（大同元年七月二十六日於郵政接收之同時、即行廢止中華郵政時代之郵票、而發行新郵票十八種。於大同元年七月九日以交通部令第三號公布。印刷版式爲膠版、紙質爲無水印之白色無地紙、圖案面積爲 $18\frac{1}{2} \times 22\frac{1}{2}$ 耗、齒孔爲 $13 \times 13\frac{1}{2}$ 、全張枚數之構成爲 10×10 之百枚版、印製者爲日本内閣印刷局、最初印製者於全張下部白邊之中央印有「大日本帝國政府内閣印刷局製造」之銘版、但以後所印製者——半分至壹角參分及壹角六分——並無銘版。）



A 1



A 2

中央に遼陽白塔、左右に高粱を配す。

（中央爲遼陽之白塔、左右配以高粱。）

皇帝陛下執政に在しませし當時の御影に月桂樹を配す。

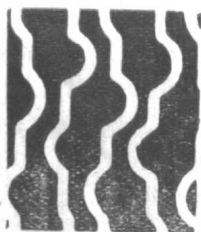
（皇帝陛下執政當時之尊容、並配以月桂樹。）

1	A 1	半 分	焦 茶 色 (沈 香 色)	.55	.15
2	〃	壹 分	紅 蝦 茶 色 (紅 褐 色)	.55	.03
3	〃	壹分五厘	淡 紫 色 (淡 紫 色)	3.70	2 00
4	〃	貳 分	藍 色 (藍 色)	4.00	.25
5	〃	參 分	鳶 色 (棕 色)	4.00	1.40
6	〃	四 分	驚 茶 色 (灰 綠 色)	.50	.04
7	〃	五 分	綠 色 (綠 色)	.60	.15
8	〃	六 分	赤 色 (玫 紅 色)	4.50	.75
9	〃	七 分	鼠 色 (黑 灰 色)	.40	.25
10	〃	八 分	金 茶 色 (橙 黃 色)	12.00	3 00
11	〃	壹 角	朱 色 (朱 色)	1.50	.10
12	A 2	壹角參分	鳶 色 (棕 色)	4.00	3.00
13	〃	壹角五分	赤 色 (玫 紅 色)	35.00	.65
14	〃	壹角六分	青 綠 色 (青 綠 色)	26.00	.70
15	〃	貳 角	焦 茶 色 (沈 香 色)	2.60	.25
16	〃	參 角	黃 赭 色 (淺 赭 色)	1.60	.60
17	〃	五 角	老 綠 色 (老 綠 色)	1.60	.40
18	〃	壹 圓	紅 紫 色 (紅 紫 色)	20.00	5.00

附記——大同元年九月呼倫貝爾警備司令蘇炳文の叛亂あり、扎蘭屯、海拉爾、滿洲里等の郵政機關は一時叛軍の勢力下に置かれ、郵便切手印面上部の「滿洲國郵政」の文字上に「中華郵政」と加刷せるもの非公式に發賣、使用せられしが、同年十二月叛軍の掃蕩されると共に該加刷切手も回收一掃されたり。加刷の色には黒色及赤色あり、又其の混合色と見らるる紫色のものあり、切手の種類は第一版十八種全部に及ぶ。これを「蘇炳文切手」と稱す。

(當大同元年九月呼倫貝爾警備司令蘇炳文叛亂、扎蘭屯、海拉爾、滿洲里等地之郵政機關、一時歸叛軍勢力之下、同時並將郵票圖案上部「滿洲國郵政」之文字上加蓋「中華郵政」四字發賣使用、但於同年十二月、叛軍掃蕩、並將該加蓋郵票亦徹底收回銷燬。加蓋色彩有黒及紅色者、並亦有似該二色混合色之紫色者、該郵票之種類、第一版之十八種全部均有所見。此票一般稱爲「蘇炳文郵票」。)。

用紙の透し一覽表（紙質之水印一覽表）



aa

縦波型透し（縹水波型水印）



bb

横波型透し（縹水波型水印）



cc

文字型透し（文字型水印）

滿洲帝國郵政
滿洲帝國郵政
滿洲帝國郵政
滿洲帝國郵政
滿洲帝國郵政
滿洲帝國郵政

(二) 第二版——大同三年一月以後逐漸發行

第一版と同圖案なるも印刷様式を凹版に改め、且つ用紙を着色纖維漉込み白色毛紙に改正し、縦波型透し(a a)を入れる。この改正に關する法規の公布なし。印面寸法 $18\frac{1}{2} \times 22\frac{1}{2}$ 耗、目打 $13 \times 13\frac{1}{2}$ 、シートの構成 10×10 の百面版、印刷所は日本の内閣印刷局、但しシート耳紙に銘版なし。

(圖案雖與第一版同、但印刷版式改爲凹版、紙質改爲有縱水波型水印(a a)而着色絹絲之白色毛紙、關於此次之改正並無法規之公布。圖案面積爲 $18\frac{1}{2} \times 22\frac{1}{2}$ 耗、齒孔爲 $13 \times 13\frac{1}{2}$ 、全張枚數之構成爲 10×10 之百枚版、印製者爲日本内閣印刷局、但全張白邊處未印銘版。)



A 3



A 4

19	A3	半 分	焦 茶 色 (沈 香 色)	.60	.20
20	〃	壹 分	紅 蝦 茶 色 (紅 褐 色)	.60	.04
21	〃	壹分五厘	淡 紫 色 (淡 紫 色)	1.30	.60
22	〃	貳 分	藍 色 (藍 色)	1.60	.15
23	〃	參 分	鳶 色 (棕 色)	1.30	.03
24	〃	四 分	鶯 茶 色 (灰 綠 色)	10.00	.80
25	〃	壹 角	朱 色 (朱 色)	3.00	.10
26	A4	壹角五分	赤 色 (玫 紅 色)	500.00	75.00
27	〃	壹 圓	紅 紫 色 (紅 紫 色)	2.50	1.20

(三) 第三版——康德元年十一月一日發行

康德元年帝制實施に伴ひ、切手印面の文字「滿洲國郵政」を「滿洲帝國郵政」に改正、同年十一月一日發行す。但しこの中壹角及壹角參分は康德二年七月頃より、灰青色五分及七分は康德三年四月頃より賣捌かる。康德元年十月十八日交通部令第三十三號を以て公布。印刷様式は凹版、用紙は白色毛紙にて壹角及壹角參分は「滿洲帝國郵政」の文字型透し(cc)入り、他は縦波型透し(aa)入り、印面寸法は壹角及壹角參分は $18\frac{1}{2} \times 21\frac{1}{2}$ 耗、他は $18\frac{1}{2} \times 22\frac{1}{2}$ 耗、目打 $13 \times 13\frac{1}{2}$ 、シートの構成は 10×10 の百面版、印刷所は壹角及壹角參分は滿洲中央銀行印刷所、其他は日本の内閣印刷局、但しシート耳紙に銘版なし。

■(康德元年、帝制實施、隨將原圖案中之「滿洲國郵政」字樣改爲「滿洲帝國郵政」於同年十一月一日起發行。但其中之壹角及壹角參分、係由康德二年七月左右出售、灰青色五分及七分、係由康德三年四月左右出售。康德元年十月十八日以交通部令第三十三號公布。印刷版式爲凹版、紙質爲白色毛紙、水印除壹角及壹角參分爲「滿洲帝國郵政」之文字型水印(cc)外、其餘均爲縱水波型水印(aa)、圖案面積壹角及壹角參分爲 $18\frac{1}{2} \times 21\frac{1}{2}$ 耗、其他均爲 $18\frac{1}{2} \times 22\frac{1}{2}$ 耗、齒孔爲 $13 \times 13\frac{1}{2}$ 、全張枚數之構成爲 10×10 之百枚版、印製者壹角及壹角參分爲滿洲中央銀行印刷所、其他爲日本內閣印刷局、但於全張之白邊處未印銘版。)



A 5



A 6

28	A5	半	分	焦茶色(沈香色)	.05	.04
29	〃	壹	分	紅駁茶色(紅褐色)	.05	.02
30	〃	壹分五厘		淡紫色(淡紫色)	.35	.15
31	〃	參	分	鷹色(棕色)	.06	.02
32	〃	五	分	藍色(藍色)	15.00	.30
33	〃	五	分	灰青色(灰藍色)	.70	.50
34	〃	六	分	赤色(玫紅色)	.17	.08
35	〃	七	分	鼠色(黑灰色)	.40	.40
36	〃	九	分	朱色(朱色)	.17	.09
37	〃	壹	角	濃青色(濃藍色)	2.00	.04
38	A6	壹角參分		鷹色(棕色)	2.00	1.80
39	〃	壹角五分		赤色(玫紅色)	.45	.20
40	〃	壹角八分		青綠色(青綠色)	7.00	1.50
41	〃	貳	角	焦茶色(沈香色)	.80	.15
42	〃	參	角	黃赭色(淺赭色)	1.50	.20
43	〃	五	角	老綠色(老綠色)	1.10	.25
44	〃	壹	圓	紅紫色(紅紫色)	3.00	.90

備考——灰青色五分は藍色五分の改色せられたるものにして部令には無し。又部令に記載せられたる綠色貳分、鷹茶色四分及金茶色八分(何れもA5型)に就ては調査尙ほ充分ならざるも、康總二年一月一日滿華通郵切手の發行を見たる爲め、貳分及四分は調製に至らず、八分は調製せられたるも發賣を見たるや否や尙確實ならず今後の調査をまつて決定せんとす。

康總二年十二月二十五日、壹分五厘60枚並に參分30枚よりなる二種の郵便切手粘切めて發賣さる。康總二年十二月二十六日交通部令第二十四號を以て公布。賣價各九角。ペーンの構成は何れも2×3の六面板、ペーンの周圍に目打なし。其他は普通の切手と同様。

(灰藍色五分乃系藍色五分改色印刷者、關其改色無部令之公布、再關於部令中所記載之綠色二分、灰綠色四分及橙黃色八分(皆爲A5型)、現雖未得充分調査、但因其總二年一月一日有滿華通郵切手之發行、二分及四分未能印製、八分雖已印製、但是否曾經日售、尙不確實、俟後再行調査予以決定。

康德二年十二月二十五日、又起始發行壹分五厘60枚及參分30枚而訂成之郵票冊二種、該郵票冊係於康德二年十二月二十六日以交通部令第二十四號公布、賣價各爲九角、每頁之枚數構成皆爲 2×3 之六枚版、每頁之四周並無齒孔、其他均與普通郵票相同。)

普通郵票第一、第二、第三版之差別			
	第一版	第二版	第三版
印刷樣式 (印刷版式)	オフセット (膠版)	凹版	凹版
用紙 (紙質)	白色無地紙	白色毛紙	白色毛紙
透し (水印)	無 (無)	縱波型 (縱水波型) (aa)	壹角及壹角參分 文字型(cc) 、其他 縱波型(縱水 波型)(aa)
印面上部文字 (圖案上部文字)	滿洲國郵政	滿洲國郵政	滿洲帝國郵政

(四) 第四版第一次——康德三年十二月五日發行

從來の郵便切手の圖案は建國草創の際の創案にして、各部門に於て飛躍的發展を遂げたる最近の滿洲帝國の象徵として適當ならざる爲、全部の圖案を改正し康德三年十二月五日發行す。康德三年十二月三日交通部令第二十七號を以て公布。印刷様式は凹版、用紙は白色毛紙にて文字型透し(c c)入り、印刷面寸法 $18\frac{1}{2} \times 22\frac{1}{2}$ 、耗、目打 $13 \times 13\frac{1}{2}$ 、シートの構成は 10×10 の百面版、印刷所は營繕需品局需品處印刷科(康德七年一月一日印刷廠と改稱)、シート耳紙に銘版なし、但しシート耳紙下部中央に版番號を有するものあり。

(以前之郵票圖案、乃係建國當時所草創、其後各部門均有飛躍之發展、故表現現時之滿洲帝國、頗不適切、因而圖案之全部、均加改正。由康德三年十二月五日起始發行。康德三年十二月三日以交通部令第二十七號公布。印刷版式爲凹版、紙質爲有文字型水印(c c)之白色毛紙、圖案面積爲 $18\frac{1}{2} \times 22\frac{1}{2}$ 、齒孔爲 $13 \times 13\frac{1}{2}$ 、全張枚數之構成爲 10×10 之百枚版、印刷製者爲營繕需品局需品處印刷科(康德七年一月一日改稱印刷廠)、全張白邊處未印銘版、但於下部白邊中央有印有版號者。)



A 7

上部に蘭花御紋章、中央に國務院廳舎、輪廓に高粱及大豆を表はす。

(上部爲蘭花紋章、中央爲國務院廳舎、周圍配以高粱及大豆。)



A 8

上部に蘭花御紋章、中央に荷馬車に積める農產物、輪廓に高粱及大豆を表はす。

(上部爲蘭花紋章、中央爲裝載農產物之大車、周圍配以高粱及大豆。)



A 9



A 10

上部に蘭花御紋章、中央に奉天北陵、輪廓に高粱及大豆を表はす。

(上部爲蘭花紋章、中央爲奉天北陵、周圍配以高粱及大豆。)

上部に蘭御花紋章、中央に熱河離宮、輪廓に高粱及大豆を表はす。

(上部爲蘭花紋章、中央爲熱河離宮、周圍配以高粱及大豆。)

45	A7	半	分	焦茶色(沈香色)		.01
46	〃	壹	分	紅蝦茶色(紅褐色)		.01
47	〃	壹分五厘		淡紫色(淡紫色)	.75	.70
48	〃	參	分	鳶色(棕色)		.02
49	〃	五	分	藍色(藍色)	3.50	1.80
50	A8	六	分	赤色(紅色)		.01
51	A9	七	分	灰色(灰色)		.006
52	〃	九	分	朱色(朱色)		.07
53	A10	壹	角	青色(翠藍色)		.01
54	A9	壹角參分		鳶色(棕色)	13.00	8.00
55	〃	壹角五分		赤色(玫紅色)		.10
56	A8	貳	角	焦茶色(沈香色)		.07
57	A10	參	角	黃赭色(淺赭色)		.10
58	A8	五	角	老綠色(老綠色)		.20
59	A10	壹	圓	紅紫色(紅紫色)		.30

備考——壹分五厘及三分の郵便切手帖あり。様式、賣價等第三版郵便切手帖と同様。但し之に關する法規の公布なし。

（壹分五厘及參分、另發行有郵票冊。様式、賣價等與第三版之郵票冊相同、但並無此項關係法規之公布。）

（五） 第四版第二次——康德四年四月一日發行

康德四年四月一日、郵便料金の改正に伴ひ郵便切手の一部を改正す。康德四年三月三十一日交通部令第十八號を以て公布。印刷様式、用紙其他總て第四版第一次のものと同様。

（康德四年四月一日、因郵資變更、郵票之一部亦隨之改正、於康德四年三月三十一日以交通部令第十八號公布。印刷版式、紙質及其他等均與第四版第一次者相同。）

60	A 8	八	分	綠	色（綠 色）	……	.01
61	A 9	四	分	蒼	茶 色（灰綠色）	……	.01
62	〃	壹	角	貳	分 朱 色（朱 色）	……	.02

備考——康德四年十二月一日貳分及四分の郵便切手帖發行さる。康德四年十一月二十七日交通部令第六十一號を以て公布。賣價各壹圓貳角。切手枚數、ペーンの構成其他從前のものと同様。

（康德四年十二月一日發行貳分及四分之郵票冊、於康德四年十一月二十七日以交通部令第六十一號公布。賣價各爲壹圓貳角、各冊張數、每頁枚數之構成及其他均與以前相同。）

二 滿華通郵切手（滿華通郵郵票）

（一）通郵第一次——康德二年一月一日發行

滿華通郵實施（通常郵便は康德二年一月十日より、小包郵便は同年二月一日より新協定による交換を開始）に先立ち、康德二年一月一日主として中華民國宛郵便料金用として使用の爲め四種の郵便切手を發行す。康德元年十二月二十七日交通部令第三十六號を以て公布。印刷様式はオフセット、用紙は白色毛紙にて横波型透し（bb）入り、印面寸法は貳分及八分 $18\frac{1}{2} \times 22$ 耗、四分及拾貳分 $18\frac{1}{2} \times 22\frac{1}{2}$ 耗、目打 $13 \times 13\frac{1}{2}$ 、シートの構成は 10×10 の百面版、印刷所は滿洲中央銀行印刷所、シート耳紙に銘版なし。

（滿華通郵實施（依新協定普通郵件自康德二年一月十日、包裹郵件自同年二月一日起開始交換）之前、於康德二年一月一日發行專爲寄往中華民國郵資用之郵票四種、該郵票係於康德元年十二月二十七日以交通部令第三十六號公布。印刷版式爲膠版、紙質爲有橫水波型水印（bb）之白色毛紙、圖案面積貳分及八分爲 $18\frac{1}{2} \times 22$ 耗、四分及拾貳分爲 $18\frac{1}{2} \times 22\frac{1}{2}$ 耗、齒孔爲 $13 \times 13\frac{1}{2}$ 、全張枚數之構成爲 10×10 之百枚版、印製者爲滿洲中央銀行印刷所、全張之白邊處未印銘版。）



A 11



A 12

中央に蘭花御紋章、其の左右に高粱を配す。

（中央爲蘭花紋章、其左右配以高粱。）

長白山と黒龍江、即ち所謂白山黒水を描き滿洲國國土を象徵す。

（圖案爲長白山及黒龍江、即所謂白山黒水以象徵滿洲國之國土。）